婦人と新社會

山田わか主筆

十二月號

大正九年二月二十三日第三種郵便物認可
大正十五年十一月二十三日印刷納本

ショーペンハワーの哲學と革命哲學
現代思想界の病源
本能、習慣、反省
二人の讀者の手紙
——編輯の後——

毎月一回一日發行　第八十一號　大正十五年十二月一日發行

東京市　婦人と新社會社　發行

ショーペンハワーの哲學と革命哲學

ショーペンハワーの哲學は、實は、確實な基礎と明瞭な道理をもつた思想的の著述と云ふよりは、むしろ、藝術品であると云ふことをクノー、フツシャーは如何にもよく、説明してゐる。そして、其の藝術的の性質は無限な變化のうちに繰り返へされ、立派な、けれども平易な文體につゝまれた印象強い題目を含んでゐるから、批評的に解剖して見るよりはむしろ默想すべきものだと云ふ。故に、ショーペンハワーと彼の作品とは出來るだけ關係をつけない方がよい。何となればショーペンハワーの哲學は彼自身からは全く切りはなされてゐて、彼自身からは光りを受けることは出來なくなつてゐる。別世界に生活してゐたので彼は此の世界を全く自分からは切り離されたものと見てゐた。と云つて、彼の悲觀主義は、彼の反對者の或る者が暗示するように、單なる附燒刃ではなかつた。『彼の悲觀主義は眞面目な悲劇的な世界觀であつた。けれどもそれは一ツの繪であつて、實物ではなかつた。彼の悲觀主義はいはゞ、人間苦の悲劇を踊らせてゐると見てよい。そして、ショーペンハワーは安樂な肱掛椅子にゆう〳〵と腰を下して双眼鏡を手にした見物人の一人であつた。……………見物人なる者は舞臺の打ち合ひに氣を取られて世界苦なるものを忘れる。が、見物人の一人でもがショーペンハワーのように突き通すような眼をもつて熱心に其の悲劇を始めから終りまで見たものはない。其れを見てしまうと、ショーペンハワーは、非常に感動して、併し、愉快な氣持ちで家に歸へり、そして、いはゞ彼が見たものを説明したのが、彼の哲學であり、悲觀主義である』。

そして、今日の革命家の哲學も亦ショーペンハワーの哲學と同じく一種の芝居ではないだろうか！唯、彼等とショーペンハワーとの違ひはショーペンハワーは徹頭徹尾眞面目で眞劍な作者であり、觀客であつたのに反して現代の社會革命家はその純なる心持ちと行爲を缺いてゐるように見ゆる點ではあるまいか

故に、前者は一ツの教訓を提出したに反して後者は徒らに社會を攪亂するに過ぎないような觀がある。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

現代思想界の病源

一

所謂モダーン男女の心の傾向は極端に走り過ぎて、彼等は古いものゝ一切を古いが故に厭ひ新しいものの一切を新らしいが故に好みます。

　そして、これはあらゆる有形無形の流行物によつて説明されてゐます。彼等は新らしいと稱せられることを名譽とし、所謂流行に後れることを病的に恐れてゐます。衣、食、住、娛樂、讀書と云ように凡ての方面に於て、其れが新らしいと稱せられるもので なければ 氣に入らない。

　此の新しいと云ふ言葉は彼等には何とも云へない魅力があるのです。

　勿論新らしいと云はれるものはこきがきいて輝いてゐて、目立つものですから、誰でも幾分かは惹きつけられるものですが、併し、思慮の淺い人々は其の全心を惹きつけられて行きます。彼等の目には古いものは、色はくすぶり活氣なく老ひほれくさく見ゆるのです。

　有形なもの、たとへば、新らしいスタイルの衣服、家の新らしい裝置、新らしい音樂、新らしい芝居を求める人々は、又、無形なものに於て、則ち、制度、習慣、思想に於て、及び政治的社會的、知力的の事柄に於ても新らしきを求めます。

　そして、これは有形界における程範圍は廣くならない代りに併し烈しさの度を増し、破壞力にまで進んで行きます。

常に新らしきを求めてゐる人々のためには新らしき思想などは殊に新鮮で無限の可能性があつて實に有望に感ぜられるのです。新らしい思想は新らしいが故に、生れたばかりである故に差し當りは失敗のかげも幻滅も見えません。實に新らしい思想と云ふものは一つの實驗であり可能性であり、望みでありますから無經驗な思慮の足りない者に好まれるやうになるのも無理は無いかも知れません。が、古いもののうちには禍の外は何にも見出すことが出來ないで、新らしいものにばかり感じ易い人々は、變化さへ起れば目前の禍患が除去できるものと安價に信じてしまうくせがあります。

熱心な社會主義者等は、彼等のありつたけの精力を資本主義の禍を摘發することゝ、社會主義共和國の幸福とを說くことに使用してゐます彼等に云はせると過去は禍の巢窟に過ぎません産業は奴隷制度に過ぎない。宗敎は迷信に過ぎない。敎育は死んだ傳統的形式主義に過ぎない社會生活は僞善主義に過ぎないのです。彼等にとつては過去及び現在の凡てのものが人間を不幸にしてゐるのです。

こう云ふ風に過去を並に過去の續きである現在を呪ひの目で見てゐるのですから、どうしても何にか新らしい素晴らしい考へが現れて來て現在をひつくりかへしてしまはなければならない。又それは可能であると信じてゐる。そしてさう云ふ信念は今日の下級社會のうちにはぼんやりとではあつても瀰漫して來てゐる。其處でユートピヤンは、自分の說によつて見込みを付けた社會救濟の可能を、今、自分が取つて除けようとする禍を感じてゐるのと同じ程度に強く感じてゐるのです。

二

過去及び現在を禍の巢窟と考へまだ試みられない未來を黄金世界と考へてゐる彼等にとつて

はマルクスの『プロレタリアよ、お前達が自覺することによつて失ふものは奴隷の鎖のみ、そして得るものは全世界！』と無産階級に向つて云つた言葉は確に强い刺戟であるに相違ありません。無知な、乃至は半知半解な大衆の心を操縦する呼吸をスッカリのみこんで居た點に付て云へばマルクスは確に一流の心理學者でありました。

　そして、マルクスの流れを汲み左傾した人々のいふ處を聞くと次のようになります。『今日の人間の考へ方、感じ方、働き方は習慣によつて奴隷になつてしまつてゐる。故に目下の困難な問題を解決するには彼等の思想や感情は無能である。昔の文明において有益だつた彼等の情緒は、今は全く無能である。魔術を信ずることは原始時代の人間には有益であつても科學的になつた現代人にはもう用はない。私有財産制度は過去の文明を造るには有益であつたかも知れないけれども、今日に於てはもう用はない。我々は過去の一切を捨てゝしまはねばならない。過去に造られた制度を維持して行くことは益々間違つた道を進んで行くことになる。現存してゐる社會制度を繼續して行くことはいはゞ破れた機關乃至楫のない船に乘つてゐるようなものだ』

　こう云ふように、過去の一切を云ひ直すと古いものゝ一切を嫌ひ呪ふ新らしがりや病患者がこれをいゝ意味にとると毎日々々を全然新らしい世界の榮光ある黎明と見て、無批判的に過去を侮辱してゐる者があると同時に、他の一方には、恐れ戰く心を持つて過去を崇拜する者があります。そして、其の敬虔な心は時間によつて證明された經驗を基礎とし、無批判的な過去尊敬となつてゐます。

　無批判的に過去を尊敬する人は古いものは古いが故に善く、新らしいものは新らしいが故に

惡い、思想にしろ、制度にしろ、習慣にしろ、古ければ古い程善いと信じるので、其處で習慣にしろ法律にしろ、倫理にしろ、古いと云ふので勢力があるのです。此の傾向は一種の傳統に對する尊敬心が基礎となり、ものゝ成熟に對する美的感覺が敏感になつてゐるのです。もつとも成熟と云ふことは殊に古いものの一種の特長であるには相違ありません。

又、思想、習慣、社會組織の如き、古くから存在してゐるものは親しみがあるので其れを信じ大切にすると云ふのも一種の人間性であるに相違ありません。丁度、古い友を信じ、なつかしみ、新らしい友を疑ひ、疎んずると云ふように、そしてさう云ふ人にとつては、新らしいものは何でも、いやに高調子で、がさつで、俗ッぽくて、重みと澁みが足りないのです。

勿論、古い秩序が必ずしも完全ではありません。が、もと〳〵秩序と云ふものは誰にでも知られてゐて、そして、いつでもあてになると云ふ性質を帶びてゐます。それに反して、變化はまだ習慣になつてゐない、知らない處へ行くことになります。其處で、半信半疑の變化をあてにするよりは、先づ慣れてゐるものに信賴してゐる方が安全だと云ふことになります。かくして過去と云ふものがだんだん理想化されてしまふ。そして、其れが政治的にも思想的にも倫理的にも産業的にも大きな力となつて、其の反對の變化と云ふことは禍であり、敵であると云ふように考へられるようになります。

三

故に、變化に反對するものは始めは個人的であつてもツィには社會的となります。古きを擁護しようとする氣持ちが國民的信仰となつてしまひます。そこで、一ッの變化を起そうとする運動は恐ろしい反對を受けることになります。そして、この國民的信仰は多くの殉國者を出し

てゐます。

基督を磔刑にし、ソクラテスに毒盃を强いたものは、皆、この國民的信仰でありました。

以上、新舊の崇拜者の兩極端を擧げて見たわけですが、こゝにおいて、私は、過去は禍の巢窟である、舊きが故に惡であると信じてゐる新らしがりや病患者に對して云つて置きたいことがあります。

人種の歴史は一線連綿であつて、そして、文化は人種の生理的繼續の根本事實によつて可能となり繼續してゐます、そして、この生理的繼續は、人間がこの地球上に現れた證據を殘して以來五十萬年とぎれたことがないと、その證據から科學は推測してゐます。けれども、生命それ自身はそれよりもなほ一層古いものであることを私共は想像することができます。

『舊きを嫌ふ新人達よ、お前達の血管を流れてゐる其の舊い血をどうする！』と私は云ひたくなります。人種の繼續は人間が工夫したものではなく自然の工夫であり、いはゞ、性的本能の副産物であります。子供を慾望する氣持ちは、過去に於ては、個人的と云ふよりむしろ社會的でありました。昔の種族に於ての競爭的戰國的の狀態にあつては人數の優勢が其の種族の一大勢力でありましたから。財産、家族、乃至名譽を永久に殘す手段として個人的に有識に子供を慾望するようになつたのはそれから余程後であつたといふことは容易に推測されます。少なくとも、姓名は、子が親の家を職業を、商業を、農業を繼承することによつて、永久性をおぶるようになりました。同時に、親の作法習慣、傳統が子供によつて後世に傳へられました。

子供のためには世界は常に新らしい、前例のない新らしいものです。世界は子供にとつては自分自身の記憶よりもふるくはありません。そしてその記憶は數少なくて短いちのです。子供

の經驗なるものは極めて制限されてゐるものですが、しかし教育によつてその經驗はだん／＼に無限に廣がつて行きます、そして他人の經驗によつて人は古い過去を經驗することができ、いはゆる人種的の記憶も呼び起すことが出來、ツイには歷史はいはずもがな人類學までも出來上つたわけなのです。人間がだん／＼年を取るに從つて文明には歷史があるといふことを學びます。われ／＼の現在は過去が無くてはならないことを學びます。前にもいつた通り現在は五十萬年も昔からの延長であることが分ります。

　人種の生理上の繼續はその働きにおいては本能的で一ツのメキヤニズムであります。そしてこの生理的の繼續が文化的の繼續の基礎です、昔の人は生理的には死んでしまつてゐますが、文化的には生きてゐる。昨日は確かにふたたび來ないけれども過去は前から私共に傳はつた功績のうちに存在してゐる。私共は過去を生き生きした意味に於てうけついでゐる。即ち、思想行爲、社會的組織、科學及び產業の方法、善惡の標準、教育的遺產、これ等は、皆、過去を生かして置く手段です。もし、こう云ふものが無かつたならば各時代は永久に進步しない。いつも野蠻の狀態にあるに相違ありません。勿論過去の文化的功績は生理的の繼續ではなく、社會的の習慣として主もに繼續されてゐるものです。

四

　過去は全部惡でもなければ全部善でもない。過去は功もしてゐると同時に間違ひもしてゐるそして、之は新らしいものにも古いものにも共通です。前にもいつた通り、知識、習慣、制度を過去から私共が繼承しなかつたならば私共はいつまでも野蠻人であつたでせう。生物學的にいへば私共現代人も昔の人も變つてはゐません食慾愛慾など依然と同じです、過去は私共の基礎的材料であります。各時代はその前の時代の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

殘した功績を資本として徐々に向上して來たのです。

私共の時代に於て、私共が發見したものを除けば皆過去に屬するものです。勿論、過去の遺產を私共が利用するには現在の問題を解剖しなければなりません、そして採用すべき點を採用し捨つべき點は捨てるのです、傳へられた過去の經驗、知識の遺產は非常に廣く多いものでありますから、選擇を要します。丁度歷史家が歷史を書くに澤山の材料をあつめて其の中から選擇するやうに。

其處で、現在の目的のための道具として過去を利用するには、其の過去を拜がむ必要もなければ、又は侮辱する必要もありません。唯特種の制度、習慣乃至は思想を私共のために充分だとか不充分だとか役に立つとか立たないとかと云ふ事を考へればよいのです。

一般的に云ふなら、過去の今猶存在してゐる部分の價値は、それが藝術品であれ、習慣であれ、傳統であれ、その起原には何にも關係はありません。昔の人の傑作の如きは古いから善いのではありません。又現代人の作品が新らしいが故にいゝとも惡いとも云ふことはできません。

人間が天使から下つたものであろうと、猿から向上したものであろうと今日の人間の價値に何等の變りはありません。人々が持つてゐるもの、人々が爲しつゝあること、又は、云つてゐることの價値の標準、つまり、彼等の所有品や行爲や言說に私共が贊成すべきか不贊成を稱ふべきかはその歷史によつてゞもなく、その過去によつてゞもなく、併し、今、私共が生活してゐる生きた現在のために有益であるか無いかによつて決定すべきです。

過去崇拜者のやうに歷史があるからと云つて拜む必要もないし、新らしがりや病患者のやう

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

に舊いから捨ると云ふ必要もありません。

過去から傳はつて今猶存在してゐる制度や習慣や思想を私共の現在の必要に對して有益であるか無いかを決定しやうといふ考へをもつて批評的に檢討すべきです。

處で、過去を批評的に見るといふことは事實上社會的財產と負債とを明瞭にすることです。

たとへば、過去から傳へられた私共の觀念や私共の習慣は有益なものと有害なものとのまぜこぜです。たとへ、一度は有益であつた觀念も無益乃至有害となつて生きてゐるのもあるし、又或る他の習慣及び制度は始めて實行された時と同じやうに今猶有益なものもあります。

とにかく、歷史則ち過去と云ふ背景がなかつたならば現在は文字通りに意義のないことを私共は承知してゐなければなりません。

もう一ッ云つて置きたいことは過去の價値にも自ら制限があるといふことです。過去の功績や價値を充分に評價すると同時に私共はその制限をも認めなければならない。たとへば昔の文化の特長を推稱するとしても私共はそれを私共の生活の理想として、今、こゝに實現しやうとはしません。つまり過去の藝術において表現された美を認めると同時にその通りのものを今日の畫家に私共は要求はしません。私共は各時代の功績を認めると同時に各時代に、又、特長のあることを認め、各時代の理想を尊重します。いひかへれば、秩序と變化といふものが圓滿に調節されることによつて、則ち、私共は過去、現在、未來の特長を其のあるがまゝに受け容れ尊敬し、そして私共が其れを利用し得る利益を感謝しなければならないと思ひます。そして、此の過去、現在、未來を調節して各時代の人をして意義ある生活を營ましむるものは、過去の傳達者としての教育と手に手をつないだ眞面目な現在の生活でなければなりますまい。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

本能 習慣 反省

現在の結婚制度、乃至、結婚法は長い間の經驗によつて相當の發達を遂げましたが、併し、結婚の內容の發達は其れに伴つて居りません。云ひかへれば、結婚の形式は相當にとゝのつてゐますけれども、其の內容が其れに伴つてゐないのです、此の點は、有形科學の進歩に精神科學の發達が並行してゐないのと同じです。

それ等の外部的の規則は結婚の內容、則ち、人間の本質には何等觸るゝ處がありません。結婚法と云ふイガタは其のイガタの中に入れるものゝ品質と殆んど無關係です。云ひ直せば、結婚法と云ふものは立派に出來上がつてゐるが、併し、結婚をする動機、又は、結婚する人達の意向と云ふようなことに關しては、今日猶、何等の標準がありません。

そして、今迄は、今も猶、結婚當事者を結婚へと導いて行くものは、異性を求めると云ふ本能と、そして外部的に定められた形式との二ッであります。

生れながらに持つてゐる衝動、即ち、本能の力と世間が定めて置いた習慣とに從つて結婚を斷行することが多くの不幸な結婚となつて居ります。

不幸な結婚が多い、特に、此の頃は離婚の數が多くなつたと云ふことは常に聞かされることでありますが悲しむべき此の傾向を防止しようとしてどんなに嚴格な法律を造つても其れはあまり有効ではありません。結婚してしまつてから、とやかく云ふのは既でに遲いです。不幸な結婚を少なくしようとさすれば、それはどうしても結婚生活に這入る前に考へて置かなければならない問題です。

つまり、單に本能的の衝動、云ひ直せば、單に異性が欲しいからと云ふ理由と、年頃になれば結婚をするものだと云ふ習慣と、此の二ッの理由だけで、結婚をせずに、其處に、反省と云ふもう一ッの要素を附け加

へたいものです。

反省と云ふことのない人々の生活を見てゐますと其れは、唯、持つて生れた本能と習慣に引きづられて生きてゐるようなものです。本能の場合ひは、してならないことでもさうしたいからする。必要なことでもしたくないからしない。他人のものでも自分のものでも食べたいから食べる。飲みたいから呑む、寢たいから寢ます。酒を呑む習慣の場合ひなどは自分ではどうにもならない程度に、事情によつて支配されてしまひます。酒が好きで常に呑んでゐる習慣の人には、酒とッくりは「呑め」と云ふ命令で、其の命令には到底そむくことは出來ないようです。習慣は第二の天性とまで云はれて居ることは誰でもが承知してゐます。

動物は、全然、本能と習慣に從つて生きてゐるのでありますが、併し、人間には其の本能と習慣の外に、考へると云ふ能力が與へられてあります。考へることによつて、將來に於て必ず來たる結果を豫想して、そして、目前の自分の行爲を決定することができます。

此の考へる力を私は、今、假りに、反省と云つて區きますが、反省することによつて私共は、本能や習慣の命令による無反省の行爲を避けることができます。

本能や習慣の命令のまゝの行動をとると云ふことは其の行爲の結果がどうなるかと云ふことには無頓着に唯、目下の刺戟に從つてしまうことです。つまり、自分の人間としての本質を知らないで行動してゐることです。けれども、其處に、反省と云ふ本質を知る目が開くならば其の力が、さう云ふ行爲の結果はどうなるかと云ふことを考へます。つまり、行爲と結果との因果關係を理解する力を反省と云つていゝと思ひます。

實に、これは人間特有の能力であつて、動物には無いものです。考へる、反省すると云ふことは目下の刺戟にすぐに應ずる代りに其の刺戟に應じた結果を先づ考へて見ることです。

刺戟に應じた行動をして、失敗して、時間と勢力を無駄にすることの代りに、心の中で其の行動をとつて見て、其れが成功の方向に行くか、失敗に行くかの過程を經て見るのです。其の過程と結果を充分に調査して見てから實際の行爲に移ることです。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

たとへば、此處に、試驗準備をしてゐる學生があるとします。苦しい勉强をしてゐる最中に友達が遊びに行くことをすゝめます。其の學生の其の瞬間の衝動は直ぐに机を離れて立ち上がることでありませう。

氣の合つた友達同志で散步したり、大勢で話し合つたり、芝居や音樂會に行つた習慣は直ぐに彼を外に呼び出します。もし、此の學生に反省する力がなかつたならば、彼の本能と習慣は決して彼を机の前に坐らせては置きません。

けれども、其處に、反省と云ふ力が這入つて來るとすると、彼は、出て行つて面白いと云ふことの外に勉强を怠る結果の試驗の失敗、學力が上達しないこと、親兄弟に苦しみを與へること、自分の永久的な理想が崩れてしまふことの悲しみを目の前に想像して見ます。

そして、今、出かけて行かないことは差し當りは苦しいが、併し、試驗の通過、學力の維持、自分がねらつてゐた知力的乃至人格的の標準に達し得た喜びを想像します。

つまり、想像上、認めた結果を基礎として其の時々の行爲を決定する。私共の差し當りの行爲から流れ出る結果を、差し當りの行爲に結び付けて見る。それが反省です。

實に、一夫一婦制は、本能と習慣を凌駕して反省の力が働いた結果です。此の反省の力が强くなればなる程、多く働けば働く程、結婚は健實になつて行きます

よく考へて見ることによつて、云ひかへれば、充分なる反省を經た上で結婚をすることが少なくとも不幸た結婚を少なくする方法だと思ひます。

在英國　眞島智茂氏よりの手紙の一節

……私の知人夫妻は日本の富豪の人達が何で倫敎あたりに幾年も滯在して居るかと申します、或日本一とも見る可き大富豪家の若夫人でお里は侯爵家のお姫樣と申のです。もう三年近く倫敦においでですが、交

際の爲め來て居るのに英國の貴婦人達は少しも交つてくれぬと申されて居り、交際をして居る人はミッションの人達位であります。これを聞いて幾萬の金を消費して居る此夫人の心根が哀れまれました。なか／＼傲慢の行動です。頭一ッ下げぬといふこの夫人から賴まれて私が東京英大使館に居られた夫人に賴みにまゐりました。多くの朝野の人達が外遊してもこの通りでございます。この人達が日本へ歸つて英國ではコウ／＼と申してそれが基となりいろ／＼波動して行くことが悲しまれます。

私共は外國の善きを取り惡しきを捨つる事が最大必要の事かと存じます。けれども情なくなつてまゐります。

英國もやがては大きなる變動を與へるものと存じます。ほんとうの力なくして婦人が餘りに女尊な　故に歷史がよき教えと思つて居ります。

獨逸はエライ、恐ろしきものと感じます。日本も獨逸の息が欲しいものではございませんか。

有產階級に於ては非常に產兒制限が流行して居ります。保守黨婦人會の附屬、ウーマン、インステチュトの或會合で衛生省から派遣された講師の講話を聽きました。もう表面的のものと申してもよいと存じます。

修善寺町　飯田欽吾氏よりの手紙の一節

……小生過日消防組役員大會に參加の爲に規定せられたる法被姿にて汽車中の人となりしに現代式なるハイカラ紳士とこれにふさはしき耳かくしの婦人が居り、小生等の姿を見ると小聲にて『アラ、キタナイワ』小生等は此聲を聞いて只々悲しき事に存じられ候

觸られば破れそうな〻着物を着て何が出來るぞ。耳かくし勿論惡くはなし、それら一定の主義の下の耳かくしなれば。然るに多くは流行をまれ或は流行を追ふて進みます。『オーム』か蝕魂虫の類なるべし。いづれはそばの男の厄介者なるべしと存じられ候。そばの男

はと見れば白い手、磨き立の御顔。かぼそき肩。此の手此肩にて國を負ふて立つの力何處にありや。いづれは父の財産をついばむ人の類なるべし。消防が消防たる身分を現はすには定められたる法被が第一なり。又顧れば去る關東の震災東京市民の大部分は下肥桶に汗水流したる人の手によりて救はれたる者なるべし。然るに現今は如何――一口に田舍者、田吾作、肥桶の附近を通る時は臭いと鼻をつまみて口にて息をすれば返つて衛生上有害なるべしと思ふに。かくて形ばかりの現代人は只々上部のみを新しくして頭腦の如何を思はず、かゝる人は古くもあるまじ、さりとて又新しくもあるまじ、只々無意無識の者ならむ。

古ければ古くて取り處あり、新しければ新らしとして良し。(但し、新しきは新しき知識を得て眞事に深重なる態度をとる人なり) 無意無識のどっちつかずこそ現代に多くて困るなりと信じ申候

現代は斯の如き者が社界表面に勢力を得、多數をしめて居る。然るに田舍に自然を友として純朴なる愛する農夫がいつしか此風を喜び都に〳〵と流れ出す。青年も又然り。かくて我國の將來は――と思へば前途只心寒きのみ……。

編輯の後

一般の類燒者に對して同情がないと云ふわけではないのですが、東京には火事があまり多いので特別な大火事でない限り、「昨夜はいくつ〳〵あつた」と新聞紙上の火事の數を擧げるだけで燒けた場所には注意もせずに過ぎてしまうのが常になつてしまいました。

十一月七日の晩のことでした。ラジオのニュースを聽いてゐた子供が大聲擧げて「今朝の火事は大杉印刷所と同じ番地ですよ」と云ったのに驚いて、新聞を改めて開いて見ると、やつぱりさうでした。それでも然目と云ふものは變なもので「同じ番地の家がいくらもあるのだから」と本當に燒けたと云ふ心持ちは少しもしない。が、主人が「でも、念のために電話をかけて御らん燒けないにしても騒いだのだらうから」と申しますので、電話をかけて見たが通じない。二度三度かけて見ても通じない。「これはどうも變ですよ」と云つて

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

取り敢へず子供を走らせて見ると、どうでせう、大杉氏が長い間の辛苦の結果可なり大規模に築き上げられた印刷所は丸焼けになつてゐるのでした。

本誌創刊當時は神田猿樂町の狹い私の體がやつと通るような路地の小さい暗い家、すまいも工場も一しよくたに大杉氏はたつた一人で活字を組んで居られたのでした。『執筆者も一人、印刷人も一人の雜誌』と云つてゐるのも少しの間で――勿論皆様御承知の通り雜誌は相變らず一人ですが――印刷所はメキ／＼と大きくなつて、以前のたつた一人が三十人乃至四十人の大勢となり、いくらかの活字だけであつた工場には四臺の印刷機が堂々と据へられ、驚くばかりに大きくなつたのです。こうなる迄の間の大杉氏の苦心を私共は知り過ぎる程知つて居りますので、人事とは思はず自分の家族の一人が成功したと同じように其の成功を喜んで居たのに、隣人の過失から瞬間にして其の凡てが灰となつてしまつたのを聞いて私共夫婦は大杉氏に氣の毒のあまり暫くの間は言葉が出ず唯顔と顔を見合せて居りました。

八九年の大努力の結果が無に歸した今大杉氏はどうして居られるかさ云ふと、氏は損害に付ては考へても見ず、ひたすらに、氏に賴つてゐる印刷物に支障を來たさないようにと本當に文字通りに不眠不休で應急手段に奔走されてゐます、印刷所の類燒を知つた時には本誌の十二月號はどうなることかと氣遣つたにも拘らずいつもの通りこうして皆樣に御送り出來るのは一偏に大杉氏の誠意のたまものです。氏の此の誠意と過ぎたことは過去に葬つてまッしぐらに前進しようとなさる此の勇氣は、必ず近き將來に於て今度の此の大傷手を癒やさずには置かない。舊に倍した盛大なる大杉印刷所が再び建設されることを私は信じて疑ひません。

本誌臨時定價表

一册	金十錢	送料五厘
六册	前金五十五錢	（送料共）
十二册	前金壹圓	（送料共）

▼誌代及郵税は前金の事▼御送金の際は振替貯金東京五三六八八番に御拂込みのこと▼郵券代用は五厘切手にて一割增▼廣告は御照會次第御相談いたします

大正十五年十一月廿三日印刷納本
大正十五年十二月一日發行

東京市四谷區南伊賀町四一
編輯兼發行人　山田嘉吉
東京市牛込區山吹町一九八
印刷人　大杉直次郎
東京市四谷區南伊賀町四一
發行所　婦人と新社會社
振替東京五三六八八番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN